

第 40 回理事会議事録

一般社団法人日本ねじ工業協会

開催日時：2023 年 3 月 16 日（木）13：30～15：00

開催方法：Web 会議（Zoom）

現在の理事数 9 名

出席した理事数 8 名

現在の監事数 2 名

出席した監事数 2 名

（順不同、敬称略）

○理事出席（8 名）

代表理事（会 長）	佐藤 義則	株式会社サトーラシ
理 事（副会長）（事務局担当）	高須 俊行	富士セイラ株式会社
”（副会長）	藤田 守彦	藤田螺子工業株式会社
”（副会長）	嶋田 守	株式会社フセラシ
”（関東支部長）	望月 紀人	クラウン精密工業株式会社
”（関西支部長）	後藤 晴雄	株式会社朝日押捻子製作所
”	檜本 隆之	株式会社三和鋳螺製作所
”	北井 敬人	ケーエム精工株式会社

○監事出席（2 名）

監 事	山口 誠一	株式会社山口ナット
監 事	池田 裕之	池田金属株式会社

○理事欠席（1 名）

理 事（中部支部長）	長谷川 裕恭	株式会社メイドー
------------	--------	----------

○監事欠席（0 名）

- 議 題
1. 2023 年度 事業計画案について
 2. 2023 年度 事業予算案について
 3. 次期 理事及び監事候補案について
 4. 次期 評議委員について
- 報告事項

○議 事

高須副会長から定数を確認し、8 名の理事本人が Web 会議に参加しているので理事会が有効に成立している旨を報告し、その後、会長より、開会の挨拶があった。その後、会長が議長となり議事に入った。

議題 1. 2023 年度 事業計画案について

事務局より、2023 年度事業計画書（案）に基づき、事業計画案の骨子説明があった。その後、事業計画案についての意見を求めたところ、会員 1 社では対応が難しい一般社団

法人として取組む事業として、最近の脱炭素化や SDGs の実現に向けた取組みを取入れるべきであるとの意見があった。

議長より、上記意見を取入れた事業計画案を、修正して、改めて理事の皆様へ承認頂いた上で、総会に上程することを議場に諮った結果、異議なく承認された。

議題 2. 2023 年度 事業予算案について

事務局より、2023 年度事業収支予算案については、資料 2023 年度予算（案）別添に基づき発表する旨説明があった後、今期の収入及び事業計画案をもとにした支出に関する事業収支予算案の骨子について説明した。

その後、出席の皆様へ意見を求めたところ、事業予算案にある委託費について、具体的な実施内容を知りたいとの意見があり、2023 年度予算案の根拠となる 2022 年度事業の委託費に関する報告を別途することを確認した。

また 2023 年度の予算は、5 月 18 日開催の社員総会で議決・成立となるため、新年度開始の 4 月 1 日から社員総会までの約 2 ヶ月間の予算及びその執行については、定款の規程に従い、前年度の予算執行の例により執行する旨説明の後、議長より、以上、収支予算書案を議場に諮った結果、原案どおり承認された。結果、上記、事業計画書案と共に、総会に上程する。

議題 3. 次期 理事及び監事候補案について

議長より、第 11 回社員総会に上程する 2023 年度の役員改選の件について、前回理事会では未だ選考中であった関西支部の 1 名の理事候補が決定したことを含めて、以下の通り選考した役員候補案の説明があった。

関東支部：理事候補案 4 名（内 会長候補案、副会長候補案 1 名、支部長候補案 1 名）
監事候補案 1 名

中部支部：理事候補案 2 名（内 副会長候補案 1 名、支部長候補案 1 名）
監事候補案 1 名

関西支部：理事候補案 4 名（内 副会長候補案 1 名、支部長候補案 1 名）
監事候補案 1 名

続いて、上記理事候補案については候補者本人への意向確認済である旨説明。

議長より、上記役員選考について議場に諮った結果、異議なく承認された。結果、上記、次期役員候補案を総会に上程する。

議題 4. 次期 評議委員について

第 11 回社員総会に上程する 2023 年度の評議委員の選考については、会長より正副会長会で検討した結果を報告した上で、意見交換を行った結果、評議委員の役割などを充分考慮した上で、検討していく必要があることを改めて確認して継続審議となった。

評議委員の役割を考慮した上での選考について継続審議とするならば、2023 年 5 月開催の第 11 回社員総会に上程するには検討不十分ということもあり、2023 年度の評議委員は、現評議委員を継続して選任して、2023 年度中の早い段階で、理事会で評議委員の役割などを明確にした上で、改めて評議委員の選考をしたい旨説明があった。

議長より、上記、評議委員選考について議場に諮った結果、異議なく承認された。結果、現評議委員を次期評議委員候補として総会に上程する。

○報告事項

・来季の会費改訂検討について

議長より、これまで検討してきている会費改訂について、改めて来年度に検討を進めたいと説明した後、意見交換を行った。

意見交換の結果、会費改訂の目的を明確にした上で議論を進めることが重要であるとのこれまでの意見を改めて確認した。そして、そのために今年度実施した会費算定基礎申告調査の結果を役員の皆様と共有した上で、会費改訂の必要性まで含めて検討することを確認し継続審議とすることとなった。

・取引委員会とパブリシティ委員会の統合について

事務局より、本理事会の事業計画案で説明したとおり、取引委員会を未来開発パブリシティ委員会と統合して、新しく名称をパブリシティ委員会とすることを改めて確認した。

・クラウド会計ソフト導入に伴う補助金について

事務局より、前理事会でご報告したとおり当協会事務局の会計ソフトをクラウド化するのにあたり、「IT 導入補助金」の補助対象となり、今年度に同補助金が振り込まれた旨報告。

・ねじ製造関連技術の情報交換会について（賛助会員のプレゼン）

事務局より、ねじ製造関連技術の情報交換会の開催について、賛助会員への要望アンケートを実施した結果8社よりプレゼンしたいとの回答があった旨報告。来年度の事業化に向け、回答のあった8社に具体的な要望をお聞きしながら、実施計画を検討して、改めて理事会において皆様の意見をお聞きして実施していく旨説明。

・ドイツねじ協会との交流について

事務局より、本理事会の事業計画案で説明したとおり、2023 年 10 月に、日本ねじ研究協会（以下、ねじ研）主催の ISO 会議の日本開催が決定し、これまでの当協会とドイツねじ協会との交流窓口である Stefan Beyer 氏も来日予定である旨報告。現在、ねじ研で受入れのための準備をしており、当協会もねじ研の周年事業で協賛金を出したことから、来日したドイツねじ協会代表者と当協会の代表者との交流に向けた話合いが、その場で出来るのではないかと説明があった。

・関東支部事業について

事務局より、関東支部の副会長・理事・監事と関係団体の理事長と来年度の支部事業について打合せを実施した旨報告。その結果 2023 年度は工場見学会と関係団体との共催で研修会（講習会）を計画することとした旨報告。

・MF-Tokyo 展示会出展について

事務局より、本理事会の事業計画案で説明したとおり、2023 年度にパブリシティ委員会が MF-Tokyo 出展に係る企画担当となって本展に出展することを改めて確認した。

・会員名簿の更新について

高須副会長より、本年度実施の会員名簿を一新して発行したことについて、配布先の商業者団体で好評であり効果があったことを報告。引続き会員名簿の更新の必要があることから改訂タイミングや方法等について皆様からの意見を頂戴したい旨説明。

・カーボンニュートラル（EU-CBEAM）について

議長より、当協会会長、副会長、理事、監事の皆様と経済産業省産業機械課長との

EU 向け輸出に関する意見交換会を先日実施したところであるが、その中で会員個々が CO₂ 排出量を算出出来るようにしておく必要があるとのことで、実際には排出量算出計算式等で御苦労されている会員もいると思うので、来年度、研修会（勉強会）などの対応を検討する必要があると説明があった。

・ねじ商工連盟総会について

藤田副会長より、ねじ商工連盟総会について、日本ねじ商業協同組合連合会より、来年度については、2023 年 8 月 3 日（木）12:00 より、新横浜グレイスホテルで開催することとして、商社と直接取引のある当協会会員企業と情報交換したいとの話があった旨説明があった。

・大規模地震対策について

最後に、大規模地震発生時を想定した各社の対応等について、当協会では情報交換等を実施して情報収集して貰いたいとの意見があった。

以上で議事の全てを終了し、15:00 に閉会した。

以上の議決を明確にするため本議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに押印する。

2023 年 3 月 16 日

一般社団法人日本ねじ工業協会

会 長 佐 藤 義 則



議事録署名人 高 須 俊 行



議事録署名人 山 口 誠 一



議事録署名人 池 田 裕 之

